



立命館大学大学院経営管理研究科

観光マネジメント専攻（仮称）＜設置構想中＞について

1. 立命館大学大学院経営管理研究科について（2023年1月現在）

【名称】立命館大学大学院経営管理研究科（通称：立命館ビジネススクール、略称：RBS）

【専攻】経営管理専攻

【学位】経営修士（専門職） ※国際的には MBA（Master of Business Administration）です。

【入学定員】80名

【初年度納付金】入学金 20 万円、授業料 1,268,600 円（2023 年度入学）

【プログラム／キャンパス】

- キャリア形成プログラム（学部卒生）/大阪いばらきキャンパス（OIC） JR 茨木駅から徒歩 5 分
- マネジメントプログラム（社会人）/大阪梅田キャンパス JR 大阪駅南口から徒歩 5 分

2. 観光マネジメント専攻（仮称）設置構想について

（以下は構想中の内容であり、今後、変更の可能性があります。）

【名称】観光マネジメント専攻

【学位】観光経営修士（専門職） ※「観光 MBA」、観光産業における MBA です。

【入学定員】70名

【初年度納付金】経営管理専攻と同じ程度を予定しています。

【プログラム／キャンパス】

- 観光事業キャリア形成プログラム（学部卒生）/大阪いばらきキャンパス（OIC） JR 茨木駅から徒歩 5 分
- 観光事業マネジメントプログラム（社会人）/大阪梅田キャンパス JR 大阪駅南口から徒歩 5 分

【設置時期】2024 年 4 月

【教育研究上の目的、養成する人材像】

立命館憲章に則り、経営管理の基本を理解し、実践する力量を身につけ、観光産業の企業および非営利組織の経営におけるビジネスを創造するリーダーとして、世界および日本の持続的発展を担う人材の育成を目的とする。

このような人材に求められる資質や能力である①効果的な意思決定、②創造的な問題解決、③リーダーシップ、④コミュニケーション能力、⑤グローバルな視野と倫理的思考、社会・環境への意識の 5 項目の修得を学修目標とする。

育成する具体的な人材は、

- 宿泊業その他の観光企業および観光関連企業の経営者、DMO（Destination Management/marketing Organization,観光地域づくり法人）を始めとする観光非営利組織の経営者、観光産業で起業を目指す人材
 - 観光企業および観光関連企業、観光非営利組織の経営管理人材
 - 観光産業における経営支援人材
- です。

【学びの特長】

観光マネジメント専攻での学びには、次のような3つの特長があります。

- ① MBAに求められるマネジメントの知識・スキルとともに、観光産業の各分野で役に立つ知識・スキルを身につけるためのカリキュラム
- ② オンラインを積極的に活用（現地調査の際は、遠隔指導を導入）
- ③ 第一線で活躍する教授陣（実務家および研究者）による実践的な授業

3. カリキュラム

- コア科目、選択科目、演習科目（ゼミ）、実習科目の4つの科目群から構成されています。
- 入学後はコア科目を中心に、MBAに求められるビジネスやマネジメントに関するベーシックな知識を学び、その後、観光産業で役に立つ実践力の習得のために選択科目の中から、キャリアプランや関心のある領域に応じて学んでいきます。
- 2年次で履修する演習科目「リサーチプロジェクト」（仮称）では、企業や地域と協力を得て、課題解決型のプロジェクトを展開します。

この構想は決定した内容ではありません。今後、変更の可能性がありますので、ご注意ください。